

学園だより 13

～教育委員会～

教育・郷育・共育による

心豊かな「朝来っ子」づくり

郷土の特色を生かし

共に高め合う

一貫性のある教育の推進

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化するなかで、心身ともに健康で豊かな心と個性を育む教育が求められています。

そこで、朝来市教育委員会では、そのような課題に対応するため、調和のとれた教育、幼児期から青年期までの一貫した教育、信頼に応えられる学校づくり、学校・家庭・地域との連携、教育環境の充実をめざします。

少子化に対応できる体制作り

少子化に対応するため、学校規模の適正や教育のあり方を検討します。また、子どもたちの発達段階に応じた育みが適切になされるよう保育所から中学校・高等学校まで、幼児・児童・生徒に専門性をいかしながら関わります。特に、幼保一元化に向けた取組として「認定こども園」を運営し、より一貫性のある教育をめざします。



学校規模配置検討委員会の視察

学校評価制度の充実

豊かな心と個性を育む教育を進め、教職員の資質や実践的な指導力の向上をめざすために各学校園では、PDC A（P計画・D実行・C評価・A行動）サイクルを取り入れています。

また、広報やホームページなどを通して学校評価を公表するとともに積極的に地域への情報の発信や公開に努めます。

特色ある教育の推進

今年度も各学校園において、「オンラインワンスクール事業」を展開します。また、小・中学校での一貫したアメリカ・カナダ・中国などとの異文化体験交流、本物に触れる文化・スポーツ・芸術活動など、体験的な学習をさらに充実させ、個性と創造性を伸ばします。



自然環境体験活動



中学生の美化活動

さらに、茶すり山古墳等の貴重な埋蔵文化財、名城百選の国指定史跡竹田城跡などの歴史遺産、生野鉱山、ムラセ旧居などの産業遺産、由緒ある神社・仏閣、各地に伝わる伝統芸能などの市内にある貴重な歴史文化資源を学校園での学習に活用し、後世への継承に努めます。



ようこそ地域の先輩

△平成十九年度

朝来市教育委員会重点目標

- 学校園の保育・教育を充実し、頼もしい次世代を育てる
- 郷土の魅力を生かした文化・スポーツ・芸術活動を促進する
- 共に学び、ふれあい、高め合う集団をつくる

お詫び

今月予定していました粟鹿小学校・粟鹿幼稚園は次号で掲載します。